

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 練習について

- (1) 練習は、バックスタンド裏走路を使用すること。走る方向は北側から南側への一方通行とする。
- (2) 招集後の競技場内での練習は、競技役員の指示に従って行うこと。
- (3) 持込用具の規制について  
ミニハードルやチューブ、メディシンボールなど個人の用具の持込は禁止する。

## 3. 招集について

- (1) 招集場所はメインスタンド下の雨天走路内に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程を参照すること。
- (3) 招集の手順
  - ① 招集開始時刻に競技者系の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイク・商標の点検を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカード（シール式）を受取り、右腰やや後方に付けること。（4x100mは第4走者のみ。4x400mは第2・第3・第4走者が付ける）
  - ② 点呼に代理人は認めない。同時刻に実施の他種目に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が招集場所にある「多種目同時出場届」に必要事項を記入し、競技者係まで提出すること。その場合に限り、代理人による点呼を認める。
  - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものとする。
- (4) リレー種目について
  - ① リレーオーダー用紙は、予選・決勝とも招集完了時刻の1時間前までに、競技者係に提出すること。なお、用紙は、プログラム巻末の用紙を使用すること。また、招集場所にも準備する。
  - ② 点呼は4人全員で受けること。但し、他種目に出場している場合は、上記(3) - ②に準ずる。
  - ③ リレーマーカーは出場チームで用意し、使用したマークは、使用后各チームで必ず取り除くこと。
- (5) 混成競技について  
混成競技は、両日の第1種目のみ招集場所にて点呼を行う。それ以降の種目では混成競技控室（メインスタンド下 雨天走路内）で点呼確認後、競技役員の誘導により競技場内に移動する。（トラック15分前、フィールド30分前）
- (6) 欠場する場合は「欠場届」を招集開始時刻前に競技者係に提出すること。なお、用紙は、プログラム巻末の用紙を使用すること。また、招集場所にも準備する。
- (7) 招集場所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は、競技役員が誘導する。

## 4. 競技進行について

- (1) 競技について
  - ① 予選におけるトラック種目のレーン順・フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
  - ② トラック種目・フィールド種目にまたがって同時時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。
  - ③ 決勝の組み合わせ及びレーンは主催者が決定し、記録掲示板に掲示発表する。
  - ④ トラック競技における次のラウンド進出者の決定について、同記録がありレーン数の不足するときの処置は、写真判定主任が1000分の1秒単位で記録されたタイムにより判定する。それでも決められないときは抽選する。
  - ⑤ スパイクのピンは、全天候型の9mm以下のものを使用する。ただし、走高跳・やり投については、12mm以内とする。本数は11本以下とする。
  - ⑥ ナンバーカードは配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。

⑦ リレーに出場するチームは、上衣同一ユニフォーム・下衣同色で参加しなければならない。

(2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

#### 跳躍競技

走高跳	男	決	練習 1m85	1m90 - 95 - 2m00 - 05 - 08	以降 3cm ずつ上げる
	女	決	練習 1m55	1m60 - 65 - 70 - 73	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳	男	決	練習 4m00 練習 4m50	4m10 - 20 - 30 - 40	以降 10cm ずつ上げる
	女	決	練習 3m00 練習 3m50	3m10 - 30 - 50 - 60	以降 10cm ずつ上げる

※ 同記録による 1 位決定のバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

#### 混成競技

走高跳	男	練習 1m50 練習 1m75	1m40 - 50 - 60 - 65 - 70 - 75 - 80 - 85 - 88	以降 3cm ずつ上げる
	女	練習 1m25 練習 1m45	1m30 - 35 - 38 - 41	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳		練習 2m50 練習 3m50	2m60 - 70 - 80 - 90	以降 10cm ずつ上げる

#### 5. 競技用具について

- (1) やりとポールは、私物の使用を認める。
- (2) やりは、競技開始 90 分前から 60 分前までに用器具庫前で検査を受けること。
- (3) ポールは、現地で競技開始前に検査を受けること。

#### 6. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、所定の手続きをとるものとする。

#### 7. 表彰について

各種目第 3 位までの入賞者を表彰する。成績発表後直ちに、受賞者席（競技場正面玄関内ロビー）に集合すること。

#### 8. その他

- (1) 競技場の開門は、2 日間とも 7 時 30 分とする。
- (2) 横断幕掲揚については、サイド・バックの各スタンド上部通路より上に張ること。通路の手すり・最上部のフェンスを使用し、各チーム・学校 1 枚までとする。
- (3) のぼり旗については、サイド・バック各スタンドの上部通路より上にくくり付けること。ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (4) テントは、正面スタンド中段通路より上段の屋根のない部分とバックスタンドおよびサイド芝スタンド(南側のみ)上段に設置を認める。ただし、競技運営などに支障がある場合は、撤去又は移動すること。場所取りエリアについては「第 87 回近畿陸上競技選手権大会 場所取りエリア」を参照すること。
- (5) テント・部旗・横断幕・のぼり旗等については、毎日撤去して持ち帰ること。
- (6) 応援はスタンドで行い、競技場内に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。
- (7) 更衣は更衣室を利用し、貴重品は各自で責任を持って管理すること。
- (8) 競技中に発生した障害・疾病については、本部の医務室で緊急処置のみ行う。
- (9) スタンド及び競技場周辺の使用した場所は、責任を持って清掃しゴミ等は責任を持って持ち帰ること。
- (10) 「競技会における広告及び展示物に関する規程」に反した商標（ロゴ）の付いたものを、競技場内に持ち込むことは出来ない。
- (11) スマートフォン・携帯電話等の情報機器の持込は禁止する。（招集場所でチェックを行う）